

ひらやま その十二

※ 本年度最後の「ひらやま」は新聞掲載作品です。この一年、たくさん作品が入賞、掲載されましたが、文章の技術だけではなく、素直な気持ちや感動を表しているものが多い感じました。これから文章表現する機会を与え、挑戦させていきたいと思っています。

「制服選び」

六年 甲斐 愛莉

一月三十日、土曜日に中学生の制服とカバンを買いに行きました。お店に入ると優しい店員さんが着がえる場所まで案内してくれて、そこでメジャーを使って寸法を測りました。その時私はもう中学生になるんだなと思いました。それから、実際に制服を着てみてなかなか上手に着ることが出来ずお母さんに手伝ってもらいました。毎日こんな制服を着ないといけないと思うと大変だなと思いました。

お店の方は、寸法を測ったりするのが速くてすごいなと思いました。次に中学校の通学用のカバンを買いに行きました。通学用のカバンはともかっこよくて早くしよってみたいなと思いました。

次の日に通学用のくつを買いました。くつもとてもかっこよくて早くはいてみたいなと思いました。後少して小学校を卒業して中学生になるけど残りの時間を大切にしていきたいです。



「バドミントンを」

六年 石谷 奏

私は先週の土曜日に、バドミントンをしました。私は4カ月ほどバドミントンをしておらず、とても久しぶりだったので、とっても楽しかったです。他にも、久しぶりにバドの友達と会い、いっしょにしゃべったり、練習したりしたので、それもとても楽しかったです。

また、その日はバレンタインデーの前日だったので、チョコをもらいました。とてもうれしかったです、おいしかったです。そして、その次の日、おかえしにチョコをわたすと喜んでくれ、「おいしかったよ」と言ってくれたので、とてもうれしかったです。

なので、これからもバドの友達、みんなと練習を一生けん命、頑張っていきたいです。



「新聞で知識得る」

六年 齊藤 咲



私は宮日こども新聞の「一生に一度花開く植物」という記事を読んだ。思ったことは、二つあります。

一つ目は、世界には四十〜百年に1度だけ花が咲く植物があるというのを初めて知ったことです。私たちの身の回りに生えている植物は、毎年花を咲かせるので、世界には花を咲かせるのに約百年もかかる花があるんだな、とびっくりしました。また、花を咲かせるのに四十〜百年かかるのは、プヤ・ライモンディとアガベです。

二つ目は、プヤ・ライモンディとアガベを上回る、花を咲かせるのに百二十年かかるという植物が日本にあるということです。その植物の名前は「スズタケ」で、北海道から九州の産地で見られます。なかなか見られないと思うので、生きている間に一回でもいいから見てみたいな、と思いました。

私たちの身の回りには、知らないことがたくさんあるので、新聞なども見ていろいろな知識を得られたらいいなと思います。

「はじめての修学旅行」

六年 中川 樹

みんなで行った
修学旅行
ホテルから見る
キレイな景色の
夜の海

みんなで行った
修学旅行
青島で見た
涼しい雰囲気
青島神社
みんなで行った
修学旅行
バスから見る
キレイな景色の
広大な海

